

Merry Around The World

Vol.4 My First Merry

笑顔のポートレートを通じて世界に幸せを循環させるMerry Projectは、いかにして生まれたのか。Merryは1日にして成らず、それはなんとなくわかるけれど、そのはじまりときっかけはどこにあるのだろう。話はいまから20年ほど前に遡る。

写真/水谷孝次 構成/編集部

かつてファッション写真の巨匠、リチャード・アヴェドンはある撮影のときに2台のカメラを用意したそうです。1台目でポートレイトの写真を普通に撮り、モデルやスタッフが気を抜いた瞬間に、すかさず2台目のカメラで自然で素に近いピュアな表情を撮ったそうです。アヴェドンが撮りたかったのは、人間のピュアでリアルな表情。ドキュメンタリーでリアリティのある表情。これには僕も共感しますし、そういう経験も実際にしました。じつはMerryもその本質の部分に、アヴェドンが2台目のカメラで撮った写真と同じテーマを含んでいるんです。今回はそのココロの部分をお話しましょう。

1980年代、バブル経済で日本列島が沸き返っていたころ、僕は売れっ子アートディレクターで、広告のアートディレクションをいっぱいやって、広告写真をいっぱい撮りました。この時代の広告写真は、クオリティが至上命題。例えばたった1枚の写真のために、数億円の経費を使ってハリウッドの豪華なスタジオを借り切り、超有名タレントを呼んだりしていました。きっと今なら、これのどこがクリエイティブなのかと首をかしげる人もいるでしょう。壮大なスケールでクオリティを追い求めるのは、クリエイターとしては夢のような世界ですが、その一方で嘘で塗り固めていくむなしさもあります。文字通り僕は1枚目の写真に命を懸け、お金と時間を費やしてきたけれども、正直言って疲れてしまいました。僕は本物の世界を探したくなりました。

ある日僕は、デザインはクオリティではなくてコミュニケーションである、ということに気が付きました。そして、人を楽しませて幸せにするのがデザインであり、それこそがデザイナーとしての僕の仕事ではないのかと思ったのです。僕はそれを実行に移しました。それが「Merry Project」です。そして、2000年1月にMerryとして最初のイベントである「Merry at Laforet 2000」を原宿・ラフォーレミュージアムで開催しました。僕はイベントのために、カメラで原宿を歩く人の笑顔のポートレイトをたくさん撮りました。広告を通じて撮ったタレントの笑顔は、クオリティは高いけれども虚構の笑顔。Merryの笑顔の写真はブレもボケもあるけれど、本物だけが持つリアルな笑顔。その前向きで明るい写真には、写真が本来持っているリアリズムやダイナミズムが含まれていました。

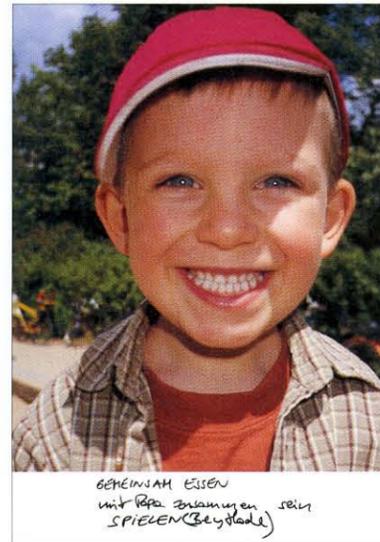
21世紀は本物が求められる時代だと思うんです。Merry Projectが追求する本質的な部分は本物、リアリズムです。人が幸せであるその瞬間を撮りたいし、生きているその瞬間を共有できることが幸せなのです。こうしたリアルがあるから、僕は笑顔の力を信じて世界中で笑顔を撮り続けているんです。2台のカメラをポケットに忍ばせて。

(水谷孝次氏の談話を基に構成)

●水谷孝次(みずたにこうじ)

<http://www.21merry.net/> <http://www.remus.dti.ne.jp/~mizutani/>

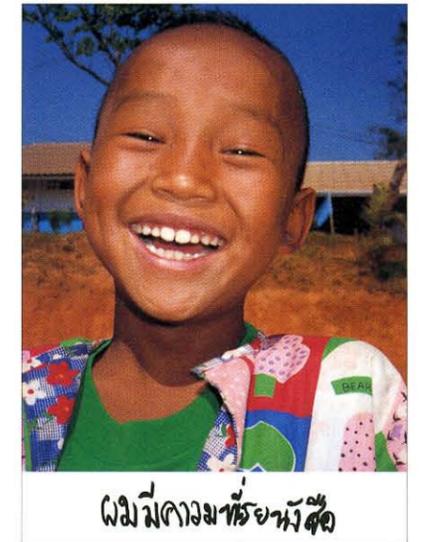
アートディレクター。1999年より笑顔撮影したポスターの展示やごみ拾いなどのコミュニケーションアートを通じて、世界に「Merry(しあわせ)」の輪を広げていく「Merry Project」を開始。2005年、愛・地球博にて「Merry Expo」開催。同年12月、同博覧会展示作品の集大成「MERRY EXPO BOOK」(新風舎)を出版。愛・地球博の会場に使われた使用済みダンボールをリユースした装丁による、世界に1冊だけの本。約300人の笑顔と1,000人以上のメッセージを収録。これらの活動に対して2006年桑沢デザイン・オブ・ザ・イヤー賞を受賞。



BEIEMJAH ESSEN
mit Papa zusammen sein
SPIELEN (Beyglade)



Dalmatians



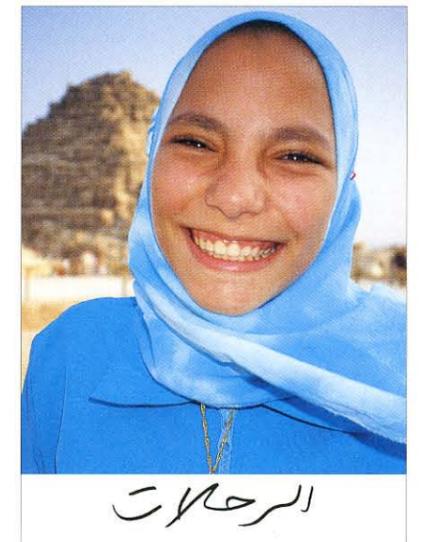
ผมมีดวงอาทิตย์คู่



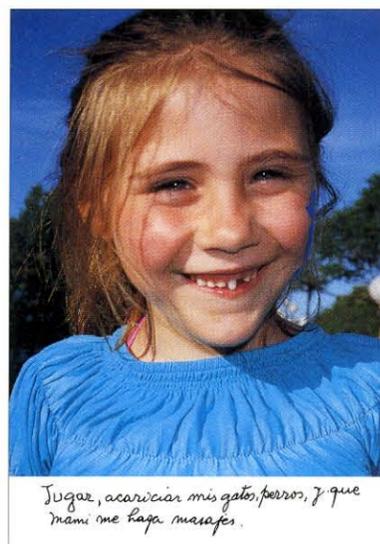
Koga una beca u
kopovo.



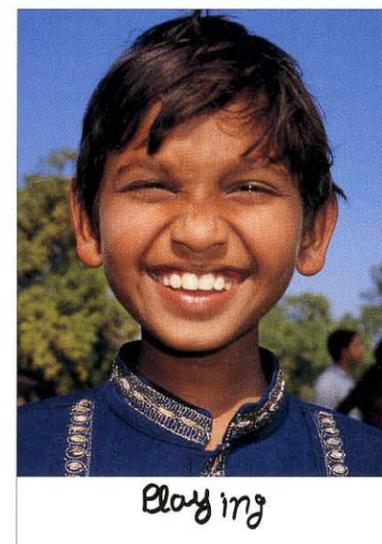
Smiling



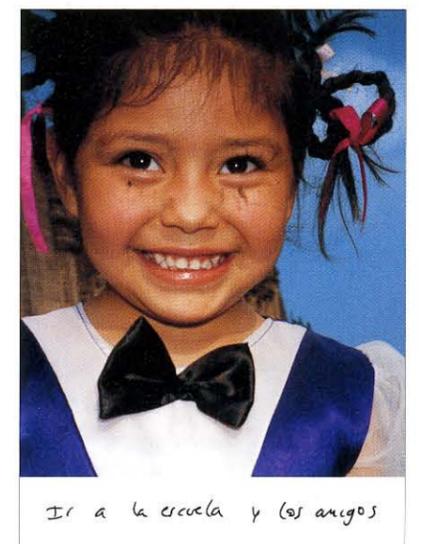
الرحمة



Jugar, acariciar mis gatos, perros, y que
mami me haga masajes.



Playing



Ir a la escuela y los amigos